

基本計画を踏まえて、平成29年度以降新たに取り組むべき課題について

- 第5期科学技術基本計画に掲げる「食料の安定的な確保」の実現に向けた課題等について、29年度予算でどのように取り組むべきか、ご議論いただきたい。
 - 現行の2つのシステムにおいて不足している施策や技術の検討
 - ◆ 関係府省との連携を踏まえた情報伝達や経営支援を可能とするシステムの構築
 - ◆ 輸出対策に向けた市場のニーズ調査
例) 育種開発段階での二国間連携の仕組みの検討 等
 - ◆ 民間の活力を生かした農畜産物の開発

ほか

- 「食料の安定的な確保」の実現に向けて、現行システム以外に必要な施策の検討
 - ◆ 農林水産業の成長産業化に向けて、T P P 対応、輸出対策等の検討
 - 例) 種苗や農畜産物の検疫並びに品質検査を迅速に行うためのプロトコルの早期確立
 - ◆ 国際標準に対応した食料安全保障の技術、システム、ルールの包括的対策
 - 例) 認証なし輸入飼料の克服（認証加工業者）
 - ◆ 民間と政府のバランスある投資による研究開発資金の増大

ほか